

増田昭一さんの本



丹沢山麓の地域出版社・夢工房の出版活動と増田昭一さんの本をご紹介します。
 ◆夢工房は、1988 年以來、地域にこだわりながら本づくりを続けています。自然・歴史・生活文化、何よりそこに暮らす人々の生活の息吹を感じ、地域の人々に支えられた 29 年間でした。手がけた本は、市販書籍 170 冊余り、個人・会社・団体などの大小の自費出版書籍は 400 冊を超えました。継続は力なり、今後またゆみなく本づくりに励みます。◆出版をめぐる環境は激変しています。さまざまな情報の検索・収集などは、いとも簡単にインターネット上で可能です。しかし、紙を媒体とした「本」はいつの時代でも無くならないでしょう。印刷された文字・写真情報は、人間本来の自由な発想や想像力をかきたて、物事を考える原点だからです。◆戦争と平和を考える増田昭一さんの本はこれまで5冊刊行され、『満州の星くず…』をはじめとした増田さんの本を原作として、2014 年 8 月には、TBS「テレビ未来遺産」終戦 69 年ドラマ特別企画「遠い約束」～星になった子どもたち～として放映、DVD も制作されました。◆本づくりへの質問、疑問にもお答えします。下記へご連絡ください。

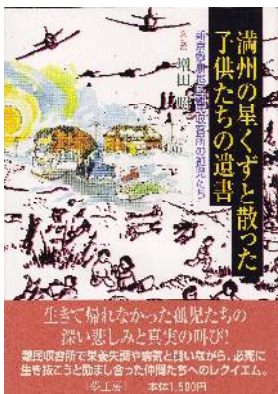
夢工房 片桐 務

〒257-0028 神奈川県秦野市東田原 200-49 TEL (0463) 82-7652
 FAX (0463) 83-7355
 E メール yumekoubou-t@nifty.com
 HP //www.yumekounou-t.com
 Blog「丹沢山ろく夢工房の本づくり」
<http://tanzawa-yumekoubou.cocolog-nifty.com/blog/>
 〈郵便振替〉00250 - 4 - 60202

『戦場のサブちゃんと言とゴン—満州・磨刀石の戦いを生きた二つの命—』

- ◆文と絵 増田昭一 ◆定価 1944 円 (本体 1800 円+消費税)
- ◆判型・ページ数 B6 判 340 ページ、並製本カラーカバー装、挿絵 31 点
- ◆発行日 2009 年 8 月 15 日 ◆発行 夢工房
- ◆本書の概要 ～誰も書かなかった満州の兵隊と子どもたちの戦争～

満州 (現中国東北地区) における関東軍最後の地上戦「磨刀石の戦い」における兵隊の苦悩と「故郷」への想い、満足な武器もない戦場での勇敢な戦いを描く。戦闘に巻き込まれた老人、婦人、子どもたちは、果てしなく続く満州の原野をさ迷い、わが子を捨てたり、手に掛けたり逃避行を余儀なくされる。その果てにたどり着いた難民収容所での過酷な共同生活。生きて日本に帰れなかった孤児たちの中に、サブちゃんと言と犬のゴンがいた。ゴンは、900 キロにも及ぶ道りをサブちゃんを探し求め、奇跡の再会を果たす。81 歳の著者が、自らの戦争と、ともに過ごしたサブちゃんの体験を重ね、命を奪い合う戦争の悲惨さを伝える。2 度とあってはならない戦争、サブちゃんと言とゴンの二つの命の輝き、平和の大切さを訴える。



1945 年 8 月 15 日の敗戦のあとも悲劇は続きました。父母、兄弟など家族とも生き別れ、死に別れた多数の孤児たちは、難民収容所で肩を寄せ合って暮らしました。栄養失調やチフスなどの病気で子どもたちは次々と息絶えて逝きました。生きて日本に帰ることのできなかった多数の孤児たちの深い悲しみと真実の叫びを聴き、次の世代に伝えたい。定価 1620 円

中国残留孤児のことは度々マスコミでも取り上げられます。しかし、生きて帰ることができなかった孤児たちの無念と心の叫びは誰が伝えるのでしょうか。増田昭一さんは孤児たちとの「約束」を果たすために、涙に濡れたペンで書き続けます。『満州の星くず…』の続編。定価 1620 円



原作『満州の星くずと散った…』の 1 節を元にした絵本。3 歳になった「ともちゃん」は、収容所でお母さんに死に別れ孤児に。「お母さんに会いたかったら、おへそを見なさい」という言葉を信じて、「ともちゃん」は毎日お母さんの墓に参りながら、おへそに語りかけました。木枯らしが吹き始めると、1 枚 1 枚、木の葉っぱが散るように孤児たちは亡くなり、「ともちゃん」もまた、旅立ちました。定価 1296 円

原作『約束』の 1 節を絵本に。文化放送報道スペシャル番組 (2009 年 3 月 31 日) で「のんちゃんの靴下—誰の記憶にも残れなかった子供たち」として放送。「のんちゃん」は、赤い靴下に「みんなの分も味噌とお米を入れてください」とサンタのおじさんをお願いしながら、雪の中に眠るようにして亡くなりました。定価 1620 円



大野 正夫 著

大地の伝言

満州・戦争孤児との約束

増田昭一の生涯

発行：夢工房

定価：本体 1600 円＋税

SBN978-4-86158 089-5 C0095 Y1600E



テレビ未来遺産「遠い約束～星になったこどもたち～」(TBS 終戦 69 年・ドラマ特別企画)の原作者・増田昭一は、終戦間際に父清一・陸軍少将が赴任する満州に渡り、チャムス医学校の医学生になった。ソ連軍の満州侵攻に遭い、磨刀石の戦いの特別攻撃部隊に編入されるも九死に一生を得た。難民収容所で孤児たちと暮らし、共産党軍・八路軍に医師として従軍。引揚げ後、米軍占領下で小学校の教師となり、大地の土となった戦争孤児たちと兵士の物語を伝えつづけた。

＜目次より＞まえがき はじめに一ソ連軍の満州侵攻と日本人居留民の悲劇 幼少期の増田昭一と家族 満州へ向かった家族と昭一 ソ連軍の満州侵攻と開拓団の悲劇 磨刀石の戦い～生きて報告せよ！～ 難民収容所の孤児たち 八路軍の軍医として従軍 日本へ引き揚げ 戦後の教師生活と父の戦争体験 星になったこどもたちとの約束 テレビドラマ「遠い約束」 増田昭一の六冊の本 若者たちに伝えたいこと <参考> 満州について

〈夢工房〉

〒257-0028 神奈川県秦野市東田原 200-49 TEL (0463) 82-7652

FAX (0463) 83-7355

Eメール yumekoubou-t@nifty.com

HP //www.yumekounou-t.com

Blog「丹沢山ろく夢工房の本づくり」

http://tanzawa-yumekoubou.cocolog-nifty.com/blog/

〈郵便振替〉00250 - 4 - 60202

＜著者プロフィール＞ 大野 正夫 (おおの まさお)

◆1940年11月29日、満州・錦州市で誕生。父が満州鉄道(満鉄)の殖産部に勤務していた。錦州駅と並んで設置された社宅で出生した。1945年10月、錦州は鉄道の分岐拠点地であったので国民党軍と共産党軍である八路軍との激戦が予想されたので奉天に避難した。5歳9か月のとき、1946年(昭和21年)8月に葫蘆島より引揚げて小田原に落ちついた。◆小学校2年から4年の1学期まで、増田昭一先生の授業を受けた。1968年、東京大学大学院博士課程を修了して高知大学に赴任し、海洋生物学の研究・教育に従事して、現在、高知大学名誉教授。◆2016年、TBSテレビドラマ「遠い約束」を視聴して、増田昭一先生と60年ぶりにお会いし、それを契機に同窓会記念誌『戦後の混乱期入学の生徒と先生の軌跡』の編集・刊行に関わり、本書の企画・執筆に至った。

キリトリ

●書籍購入申込書

(送料無料)

下記書籍の購読を申し込みます。

2019年 月 日

お名前：

住所：〒

電話番号：

●大地の伝言 1600 円＋税 × 冊

●満州の星くずと散った子供たちの遺書 1500 円＋税 × 冊

●約束 1500 円＋税 × 冊

●戦場のサブちゃんゴン 1800 円＋税 × 冊

●絵本・ともちゃんのおへそ 1200 円＋税 × 冊

●絵本・来なかったサンタクロース 1500 円＋税 × 冊

合計

冊

合計金額

円